

回				
覧				

## 本日団体交渉 (11月17日)

12月期一時金要求、秋季要求への回答に注目しよう。

本日午後、東海の本部にて、12月期一時金、および労組が提出している秋季要求に関する団体交渉が行われます。

一時金について、6月期一時金では、約6%の大幅な源資切り下げ、扶養家族に関する項のない配算式の一方的な押し付け、旧サイクル機構の部分への査定の実施を強行しました。その結果、原研労組は妥結することはできず、一方支給になりました。旧原研職員にとっては、6%のマイナスで、平均約10万円の減額になりましたが、一方旧サイクル機構の職員にとっては、昨年並みになっています。これでは、ほとんどの旧原研職員にとって納得できないのは当たり前です。もともとの処遇で見れば、同年齢同学歴で、旧サイクル機構のほうが年収が高いように見えているのでなおさらです。

機構は職員が納得できる答えをしなければなりません。しかし、12月期の一時金でも、6月期と同様の切り下げを回答してくる恐れが濃厚です。回答に注目しましょう。

外回りでは、11月16日に、特殊法人労連と政法連\*の交渉が行われ、政法連として「率換算で2.535月を上限とすることを申し合わせた」と回答しています。

\*注：政法連とは、旧特殊法人などの経営者の集まりです。

### 労組の主な要求は

12月期一時金の切り下げを行うな

旧サイクル機構の部分も含め、5級以下には人事考課査定を反映させるな

労組との協議の上、扶養家族項を加味した配算式にせよ

今回の団体交渉では

旧サイクル機構職員に行われている、査定などについても聞いていきます。

機構は、どのように人事評価査定が行われているか答えなければなりません。

一時金のほかに労組は、秋季要求を10月16日に提出しています。10月27日の団体交渉では、秋季要求について機構の回答はありませんでした。今回は回答すると言っています。こちらにも回答にご注目ください。秋季要求では、以下の4点を要求しています。

- 1、統合後の新人事評価制度に関して
- 2、放射線業務手当に関して
- 3、継続雇用制度に関して
- 4、事務処理とグロービアの問題について

人事評価制度に関しては、非公式の意見交換会が行なわれていますが、意見交換の進み具合も順調ではありません。労組は先の団体交渉で、「担当部署任せにするのではなく、経営として考えるように」求めました。また意見交換会では、成果主義に対する労組の考えを述べています。だいぶ以前から、機構に対して、旧原研・旧サイクル機構で行なわれていたそれぞれの人事評価制度について、どのように行なわれてきたのか、またその役割をどう評価するのか説明と見解を示すことを求めています。つまり「総括」を求めています。しかし、機構からは、いまだに答えがありません。

放射線業務手当の問題に関しては、これも最近、交渉が進んでいません。不正受給問題の中での交渉で、機構は放射線業務手当規程の見直しを約束し、8月に一部提案がありました。しかしその中身は、管理区域に入ったか入らないかが基準になるもので、納得できるものではありませんでした。労組は、「通常の原子炉運転や加速器など放射線発生装置の運転に支給されないものであれば、手当の性格が全く変わるものであり、到底受け入れられない」といっています。機構は、過去の混乱を反省し、職員の納得できる規程見直しを提案しなければなりません。

継続雇用などの高齢者の処遇問題では、あまりに低い嘱託雇用の処遇、定年の年度末への統一問題、また新たに提起した「出張などについて職員と同じように扱え」という要求に機構がどう応えるかが問題です。この問題は高齢者の士気に関わるだけでなく、結果として職員全体の士気に波及してきます。労組は「しっかり働き、しかるべき処遇を得る」ことを目指しています。

事務処理とグロービアの問題では、機構は「意見があれば聞く」と最近の交渉で応えています。統合後、事務関係の仕事があまりに煩雑、しかも中身がない・あるいは薄いものになっており、本当の意味で仕事を進めたい職員をげんなりさせています。先の団体交渉では、これも経営の観点で改善を考えるように求めました。労組は、研究問題対策部を中心にグロービアへの意見をまとめているところです。

### 一斉分会開催中!!

活発な議論で、闘争体制を確立しよう

分会長さんは、分会の開催日程を決め、組合事務所に連絡ください。

執行委員が報告に伺います。

## 研究問題対策部から

## 財務契約系情報システム、特にGLOVIAについて 研究問題対策部

11月13日、研究問題対策部会議で、GLOVIAの問題を議論しました。その議論をもとに要求、改善提案をまとめているところですが、ここで感想のようなものを述べておきます。

現在原子力機構では財務契約に関するオンラインシステムとしてGLOVIAと呼ばれるシステムを導入している。研究・技術系の現場では特に物品購入契約手続きがようやくネットワーク経由でできるようになり、従来のカーボン紙による記入作業に比べて、利便性において改善されると当初は期待もされた。しかし、導入から1年を経過したが、このシステムには「使いづらいし、研究者にとっては負担が増えただけである」という意見が多く、問題の多いシステムとなってしまっている。GLOVIA問題は昨年末のあゆみ速報 (<http://wing.zero.ad.jp/genkenrouso/ayumi5723.pdf>)でも取り上げたが、ここで改めてこの問題を考えてみたい。

インターフェイス(ユーザの使い勝手)

まず第一の問題は入力の流れが直感的なものとはかけ離れていることであろう。例えばメニュー構成が分かりにくく、「確定」ボタンの意味が不確定(保存をするのか、作業環境を作成をするのかなど統一性がない)伝票作成で複数ページを行ったり来たりする手間を必要とする、ダミーコード入力の無駄、仕様の欄が小さすぎていちいち別添えを作らなければならない、等である。こういったインターフェイスの問題は利用者によけいなストレスを強いる結果となってしまっている。例えば機構における外部発表票は(いくつか改善を要する部分はあるが)入力手順のストリーム(流れ)が比較的理解しやすい。こういったものを参考にしても良いかもしれない。

また、GLOVIAは会計処理システムとして多数に機能を備えており、いろいろな処理が出来ることを想定しているが、それがむしろ扱いにくくさせている。多くの利用者にとって不必要な項目は見えなくするか、入力を受け付けないようにするなどといったシステムが必要ではないか。(GLOVIA簡略版または詳細/簡易モード切り替えのようなもの)例えば共通消耗品のシステムは、簡易さにおいて参考になるかもしれない。

利用環境の制限化

利用環境をウィンドウズ+エクセル+アクティブ X 利用と制限されているのも問題である。研究の現場ではUNIXやMacintoshを研究上の必要性のため利用する例がかなりある。研究上の必要性からそのように環境を整えたのに、事務処理のために別に上記の環境を用意しなければならない。これもGLOVIAに対して不満を抱く理由の一つとなっている。またエクセルファイルを生成する際に起動するftp.exeは巷のウイルス感染と同様の仕組みであり、セキュリティ上不安を覚える。

ペーパーレス未対応

伝票を作成して電子情報としたのに、それと並行してエクセルファイルをプリントアウトし、紙情報として関係部署を回し印鑑を押すことになっている。これでは、電子化した意味が全くない。電子承認システムを導入するべきであろう。もし出来ないのであればプリントアウトは出来るだけ承認作業終了後の最終段階で済むように工夫するべきであろう。また、出力がエクセルファイルなので、書き換えが可能で、電子情報と矛盾を生じる可能性もある。簡単に変更できないようにPDFファイルなどで出力できるようにするなどできないものか。

アカウント数制限

IDがグループ辺り3から4程度しか割り当てられず、使いづらい。使用者を事務職員のみと仮定しているかのようであるが、実際としては研究・技術系各人が物品購入契約手続きに使っているのが実態である。例えばIDは全員に配布(職員番号で利用可能)にする。そして全員配布に伴い、各人の環境設定を可能にする。入力情報は各人概ね毎回同じ場合が多いので、これで煩雑さをある程度軽減できるであろう。

システム導入に対する自己評価

GLOVIA/Publicは独立行政法人の会計業務における利用を想定して(株)富士通が提供したシステムということである(<http://glovia.fujitsu.com/jp/products/pubcam/public.html>)。その点では新機構が選択肢の一つとして導入を検討したことは理解できる面もある。(本来は機構内の情報関連部等が独自開発できれば良いのであるが)しかしこのシステムは結果的に研究・技術の現場に煩雑な事務処理を強いるという弊害を生じており、大いに問題である。本機構は言うまでもなく研究・開発を目的とする組織であるから、研究・技術に関わるものはその研究・開発活動業務に集中できる環境が与えられることが、優れた成果を出すためには不可欠であろう。

そういった面も踏まえて、GLOVIA導入が、研究開発機関としてプラスになっているのかわかりかねる必要があろう。現在機構はイントラネットなどで財務契約系情報システムに関するアンケートを実施中である。そのような動きは多いに歓迎するものであるが、アンケートの設問はシステムの利用頻度、動作速度のみとなっている(反応速度・検索速度についてはこのアンケートのこともあり、本文では触れなかった)。今後の改善において、上記の問題を十分検討して問題改善にあたって頂きたい。

\*\*\*\*\*

人事評価問題のキャンペーンは、今回休みます。

次回では、成果主義について出す予定です。